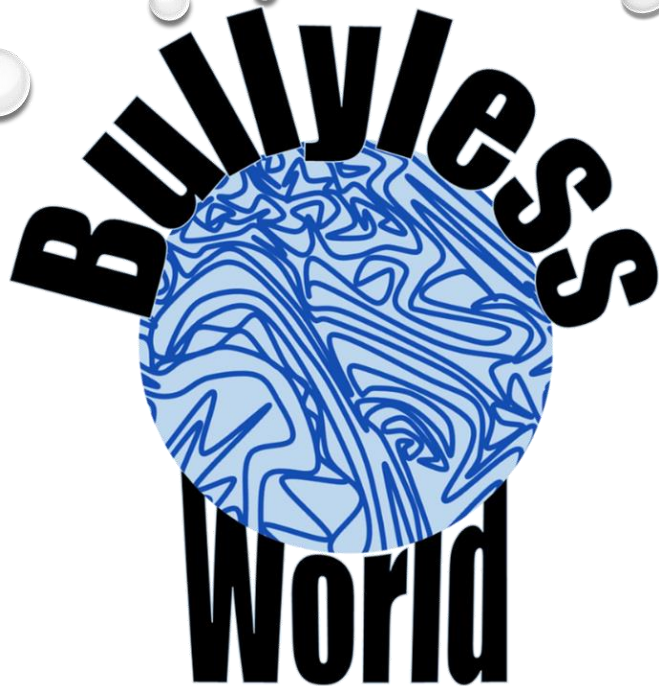


チーム5 プリン



1

地球上のいじめが
なくなりますように

2

いろんな人への誤解が
解けていきますように

チームプリンを紹介



武田 光平

✓特技は水泳。現在は個人事業主としてウェブ運営業を軽く行っています。



足立 旬也

✓趣味は料理と書道、特技は経営で自分で合同会社を設立して現在友人と二人で経営をしています



ステューティ樹莉アリエル

✓自分が興味あること、好きなことを追及して、それについての自分の視点を広げてます

伴走

・半谷 隆弥さん

・佐藤 まゆさん

私たちは

発達障害の子が
誤解されていじめられている

現実を解決したい!

なぜ、発達障害に目を向けたか

- 二人の弟が**LD(限局性学習症)**
- 学習のサポートを二年間受けられなかった



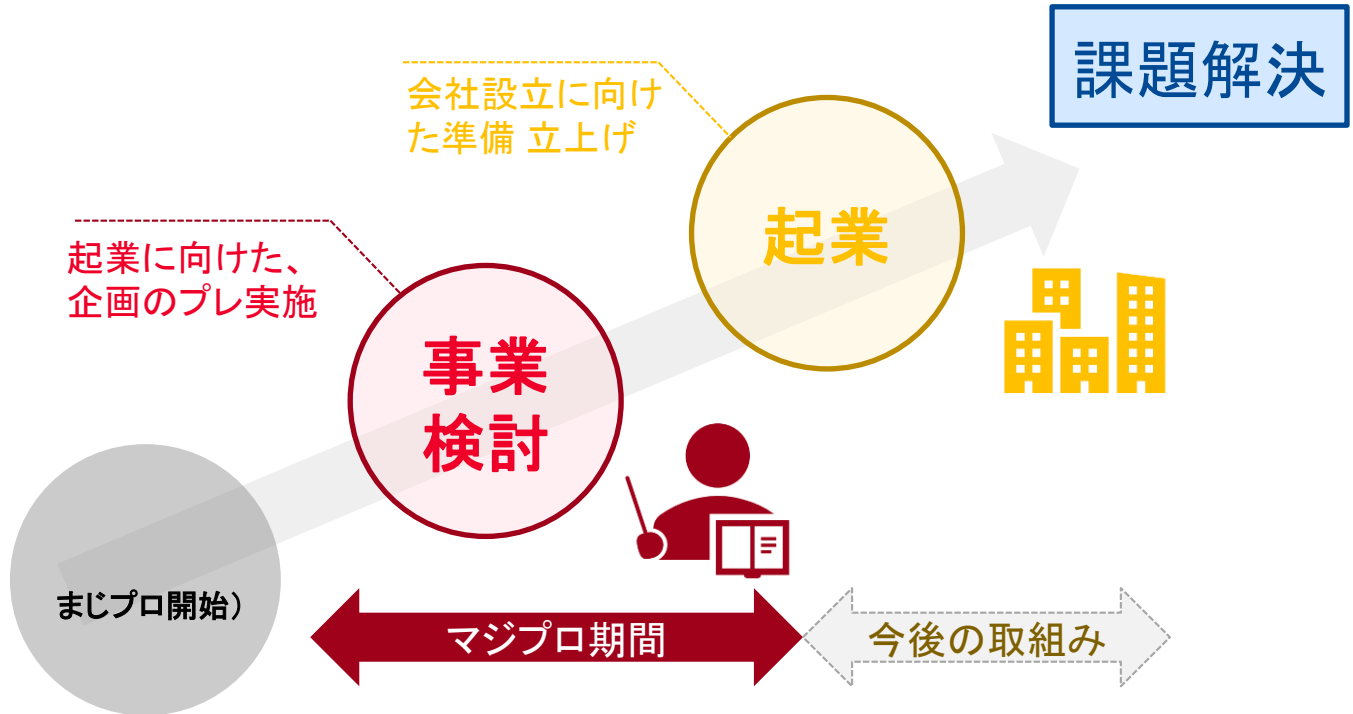
(参考) LD：限局性学習症

学習意欲があるにもかかわらず、「読み、書き、計算」などの特定領域の学習が進まない症状

- 読み
 - 違う発音をする（例えば：「に」と「は」を入れ違えて読む）
 - 文章や単語を抜かして読む
 - 読んでいるものの意味が理解しづらい
- 書き
 - 誤った文字を書く
 - 単語中に誤った文字が入る（例えば：本屋を木屋）
 - 書くのに時間がかかる
- 計算
 - 数の感覚（例えば：31が13だと思っていた）
 - 計算の正確さに困難がある

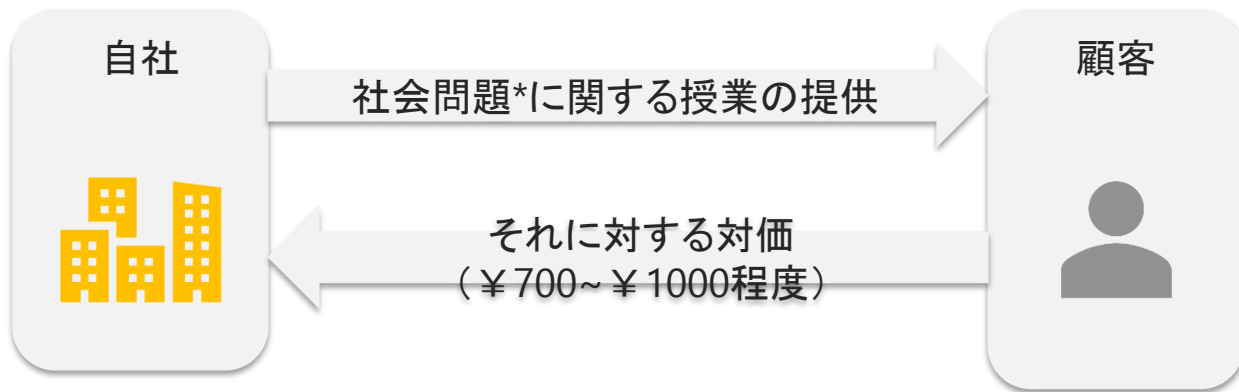
課題の解決に向けたロードマップ

最終的な課題解決に向け、起業準備を実施中



企画構想ービジネスモデル

最終的な課題解決に向け、起業準備を実施中



* 社会問題とは国独自の問題や、世界中で問題となっていたり、その他社会全体の治安が揺るがされる問題のこと

事業企画に向けたアプローチ

授業の実施に向け、インタビューを実施し教材を作成



1

- 発達障害の専門家に「どのような発達障害の種類があるのか」・「どのようなことに配慮しなくてはならないのか」などをインタビュー

2

- 実際の授業で使う教材の作成

3

- 関心を持つ人への集客活動
- 会場を利用した現場でのディスカッション

①インタビュー結果

3名から企画の実現に向けたご意見を頂いた



発達障害当事者協会 様

発達障害の人に対して配慮すべきこと

- 学校の問題だけでなく社会の問題でもある
- インクルーシブな授業のために共に考えた



Curiosity 理事 佐藤 様

企画運営のノウハウについて(イベント開催)

- 授業を聞いてもらうだけではなく実際に体験してもらうことが理解してくれるということを知れた。



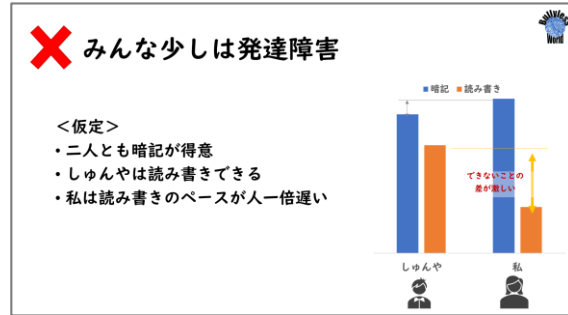
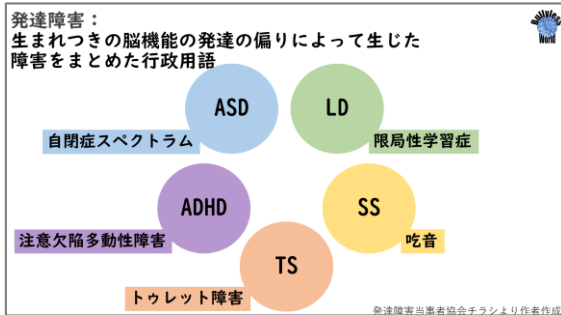
教員 菊田 紋華 様

特別支援学級の教員の目線から配慮すべきこと

- 様々な発達障害の子に対する対応の仕方や配慮の仕方などについて詳しく知れた。

②教材作成 (作成したもの)

プレ実施で利用する教材を作成



ASDのスペクトラムでおこること②

<仮定>
四つの磁石があるとす

四つの磁石を半分に割ってほしい

ハンマーで磁石を割り始める・・・
丁寧に伝えないとわからない

議題の説明

先生たちの知識不足について

現在の日本では学校で発達障害の子を守る法律や
条例が制定され始めてます

⇒ 先生たちの偏見や知識不足によりこの波に
対応できない

この問題を解決するにはどうすればいいのだろうか？

↳ Let's discussion!!

③プレ実施ー 参加者への授業&ディスカッション

現地・Webを用いたプレ授業を行った



発達障害とは何かを
教材を利用し解説

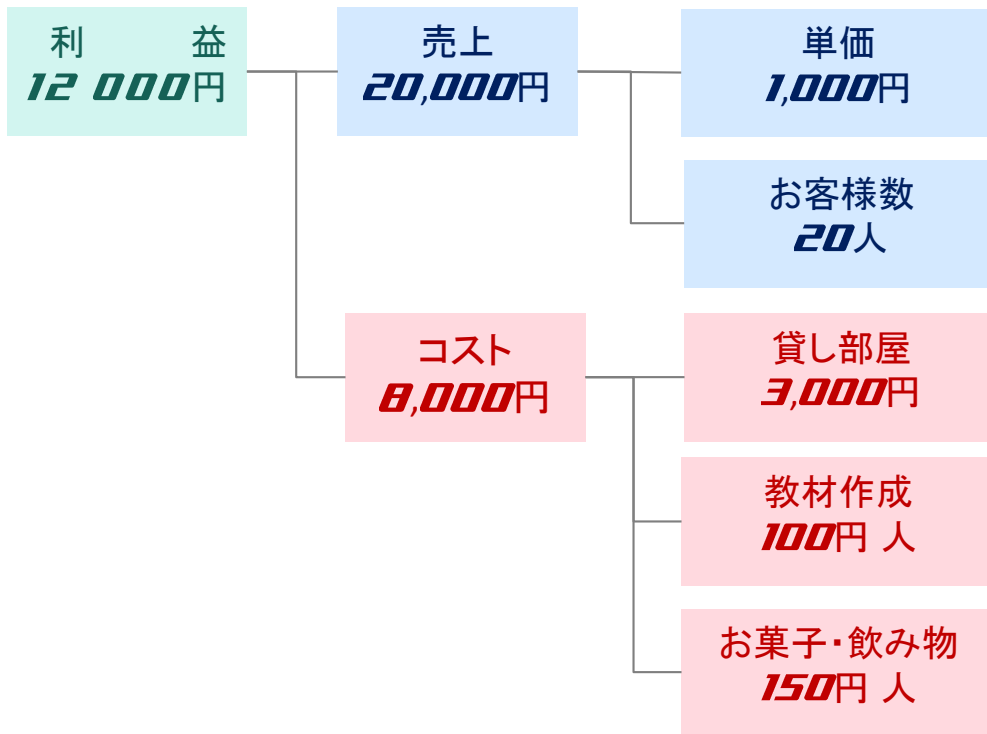
テーマごとの参加者を
交えたディスカッション



事業計画の内容

将来的には、黒字化するビジネスモデルを設定予定

授業1回あたりの利益イメージ



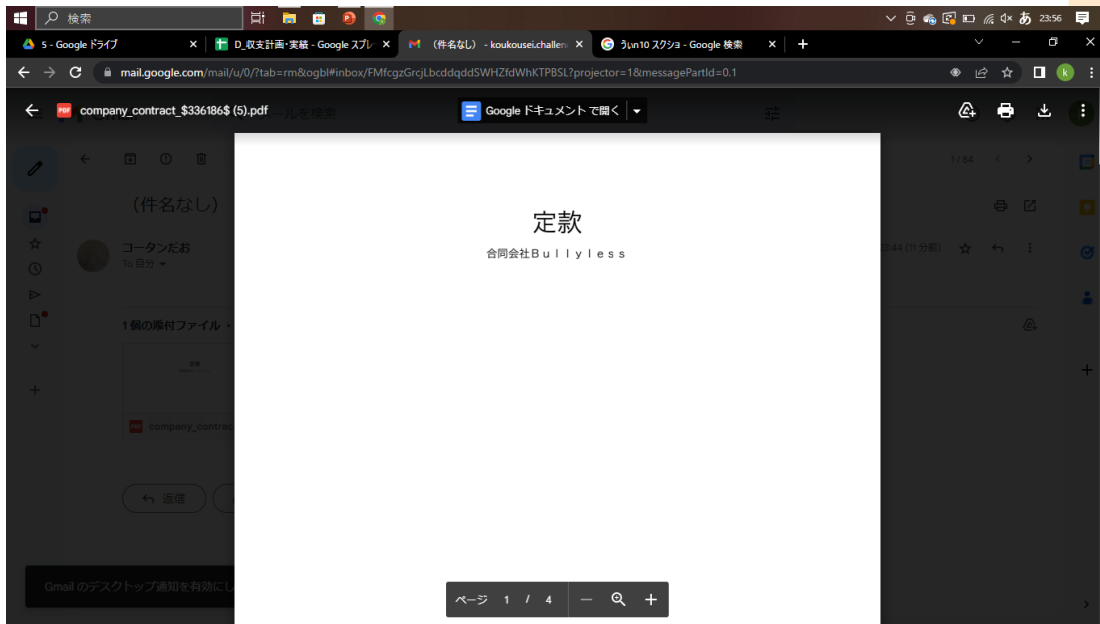
起業に向けたスケジュール



-現在-
定款の電子署名
(行政書士に依頼)

集客と授業を
ひたすらやる
(実績作り)

互いに
研究授業



プレ実施の振り返り



よかったこと

- 参加者はさまざまな関心があったが、うまく巻き込めた
- ディスカッションが活発だった

改善すべきこと

- テーマをより“ざっくり”したものにすべきだった
- 事前準備がたりなかった（内容の違いなど）



Thank you for listening !